ed-contrive®
TAKE YOUR PEACEFUL LIFE.

SD Container
管理者ツール 3.0Lite

取扱説明書

イーディーコントライブ株式会社

もくじ

■ SD-Container 管理者ツール 3.0Lite とは …… 2
■ ご使用前に …… 2
■ インストール …… 3
■ マスターキーの作成 …… 3
■ ユーザードライブを開く …… 5
■ SD-Container 管理者ツール 3.0Lite を起動する（マスターキーで認証する …… 7
■ SD-Container 管理者ツール 3.0Lite の項目説明 …… 9
　パスワード設定 …… 10
　ロック解除 …… 10
　初期化 …… 11
■ パスワード設定を他の SD-Container3.0 にコピーする …… 12
　SD-Container3.0 の設定をそのままコピーする …… 13
■ SD-Container 管理者ツール 3.0Lite を終了する …… 14
■ アンインストール …… 14

SD-Container管理者ツール3.0Liteとは

SD-Container3.0の設定を行うソフトウェアです。本ソフトウェアを使用することにより、管理者の方があらかじめパスワードを設定したり、出荷時の設定に戻したり（完全初期化）するこができます。SD-Container管理者ツール3.0Liteは、別売のSD-Container管理者ツール3.0の機能制限版です。SD-Container管理者ツール3.0では、USBメモリの管理者認証を行うための鍵＝マスターキーファイルを使用することで利用ユーザーのUSBメモリをシステム管理者の管理下におき、一括管理を容易にすることが可能です。

ご使用前に

SD-Container管理者ツール3.0Liteを使用するときは、以下のことにご注意ください。

●マスターキー削除、紛失しないように、大切に保存してください。マスターキーは、SD-Container3.0の認証、設定に使用するファイルです。初めてSD-Container管理者ツール3.0LiteでSD-Container3.0を設定するときに作成します。
マスターキーをなくすと、SD-Container管理者ツール3.0ではSD-Container3.0の設定、認証が行えず、初期化することもでできなくなります。別売のSD-Container管理者ツール3.0でのみ、完全初期化する（工場出荷時の状態に戻す）ことが可能です。

●SD-Contaienr管理者ツール3.0 LiteはWindows Vista/XP/2000（SP4）（すべて日本語版）でのみのご利用いただけます。

●SD-Container管理者ツール3.0Liteは管理者権限を持つアカウントでのみご利用いただけます。

●マスターキーを作成する前にパスワードを設定し場合、SD-Container3.0を完全初期化する必要あります。
完全初期化を行うと、SD-Container3.0に保存されたデータがすべて削除されますので、必要なデータを保存してる場合は事前にバックアップしてください。

●SD-Container管理者ツール3.0Liteでは、パスワードの最小文字数を4文字固定にしています。

●SD-Container管理者ツール3.0Liteで設定したSD-Container3.0はパスワード認証に連続5回失敗すると、パスワード認証できません。パスワード認証するには、SD-Container管理者ツール3.0 Liteでパスワード失敗回数をクリアする必要があります。

インストール

以下の手順でSD-Container管理者ツール3.0Liteをインストールしてください。

1. 弊社ユーザーサポートホームページ（http://www.safety-disclosure.jp/user/support/）から、SD-Container管理者ツールLiteのインストーラーをダウンロードします。

2. 上記1のファイルを解凍後、EDCInst.exeをダブルクリックします。
   SD-Container管理者ツール3.0 Liteのインストーラが起動しますので、
   画面の指示に従ってインストールしてください。

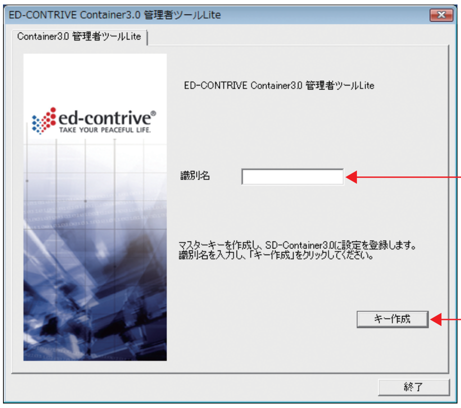
マスターキーの作成

初めてお使いになる場合、マスターキーの作成が必要です。以下の手順で作成してください。

注意	**マスターキーを削除・紛失すると、SD-Container管理者ツール3.0Liteで認証・設定・完全初期化することができなくなります。マスターキーは、削除・紛失しないように大切に保存してください。**

1. パソコンにSD-Container3.0を接続します。

2. [スタート] ─ [（すべての）プログラム] ─ [ED-CONTRIVE] ─ [Container3.0　Lite] ─ [管理者ツール Lite] を選択します。

3. 

①識別名を入力します。

②［キー作成］をクリックします。

マスターキーの作成

メモ 「ユーザーがすでにパスワードを設定しています」と表示されたら

SD-Container管理者ツール3.0Liteで設定を行うには、完全初期化を行う（出荷時設定に戻す）必要があります。完全初期化を行うと、SD-Container3.0内のデータや設定がすべて削除されますので、事前に必要なデータをバックアップしてください。よろしければ［完全初期化］をクリックしてください。完全初期化完了後、再度手順2から操作を行ってください。

メモ 「マスターキーのファイル名を指定し、「認証」または、「開く」をクリックしてください。」と表示されたら

すでにマスターキーが作成されています。マスターキーを作成する必要はありません「SD-Container管理者ツール3.0Liteを起動する（マスターキーで認証する）」を参照して、SD-Container管理者ツール3.0Liteを起動してください。
マスターキーをなくしてしまった場合は、SD-Container管理者ツールLiteを使用できなくなりますのでご注意ください。

4. 「マスターキーを作成しました」が表示されたら、［OK］をクリックします。
   マスターキーの作成は完了です。SD-Container管理者ツール3.0Liteが起動します。

注意 マスターキーは、マイドキュメント（Windows Vistaの場合ドキュメント）内の「sdc3」フォルダに保存されます。削除・紛失しないように大切に保存してください。

ユーザードライブを開く

SD-Container3.0のユーザードライブに保存したデータを開いたり編集する場合は、以下の手順でユーザードライブを開いてください。

1. パソコンにSD-Container3.0を接続します。

2. [スタート] – [(すべての) プログラム] – [ED-CONTRIVE] – [Container3.0 Lite] – [管理者ツール Lite] を選択します。

3.

① [ファイル名を指定] をクリックし、マスターキーを指定します。

② [開く] をクリックします。

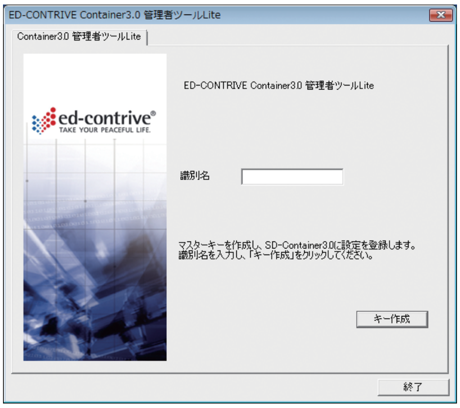
ユーザードライブを開く

メモ　「ユーザーがすでにパスワードを設定しています」と表示されたら

SD-Container管理者ツール3.0Liteで設定を行うには、完全初期化を行う（出荷時設定に戻す）必要があります。完全初期化を行うと、SD-Container3.0内のデータや設定がすべて削除されますので、事前に必要なデータをバックアップしてください。よろしければ［完全初期化］をクリックしてください。完全初期化完了後、再度手順2から操作を行ってください。

メモ　「マスターキーを作成し、SD-Container3.0に設定を登録します」と表示されたら

マスターキーが作成されていません。「マスターキーの作成」を参照してマスターキーを作成してください。



4. 「認証に成功しました。」表示されたら、［OK］をクリックします。

5. ユーザードライブが開きます。

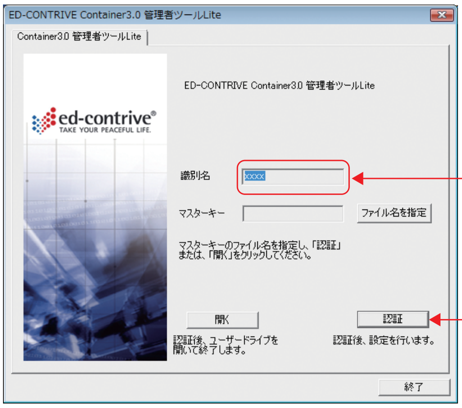
SD-Container管理者ツール3.0Liteを起動する
（マスターキーで認証する）

SD-Container管理者ツール3.0Liteで設定を行う場合、マスターキーで認証を行う必要があります。
以下の手順で認証してください。

1. パソコンにSD-Container3.0を接続します。

2. [スタート] – [（すべての）プログラム] – [ED-CONTRIVE] – [Container3.0　Lite] – [管理者ツール Lite] を選択します。

3.



① [ファイル名を指定] をクリックし、
マスターキーを指定します。

② [認証] をクリックします。

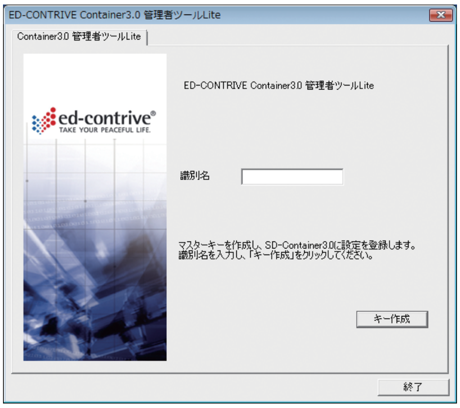
SD-Container管理者ツール3.0Liteを起動する
（マスターキーで認証する）

メモ 「ユーザーがすでにパスワードを設定しています」と表示されたら

SD-Container管理者ツール3.0Liteで設定を行うには、完全初期化を行う（出荷時設定に戻す）必要があります。完全初期化を行うと、SD-Container3.0内のデータや設定がすべて削除されますので、事前に必要なデータをバックアップしてください。よろしければ［完全初期化］をクリックしてください。完全初期化完了後、再度手順2から操作を行ってください。

メモ 「マスターキーを作成し、SD-Container3.0に設定を登録します」と表示されたら

マスターキーが作成されていません。「マスターキーの作成」を参照してマスターキーを作成してください。



4. 「認証に成功しました。」表示されたら、［OK］をクリックします。

5. SD-Container管理者ツール3.0Liteが起動します。

SD-Container管理者ツール3.0Liteの項目説明

SD-Container管理者ツール3.0Liteの画面上のタブをクリックすることにより、以下の設定が行えます。

- **Container管理者ツール3.0Lite**
  SD-Container管理者ツール3.0Lite のバージョンを確認できます。

- **パスワード設定**
  SD-Container3.0のパスワードに関する設定を行えます。

- **ロック解除**
  SD-Container3.0のパスワード認証を失敗してパスワード認証ができなくなった場合に、失敗回数をクリアしてパスワード認証が行える状態に戻すことができます。

- **ドライブ設定**
  SD-Container管理者ツール3.0Liteでは設定できません。

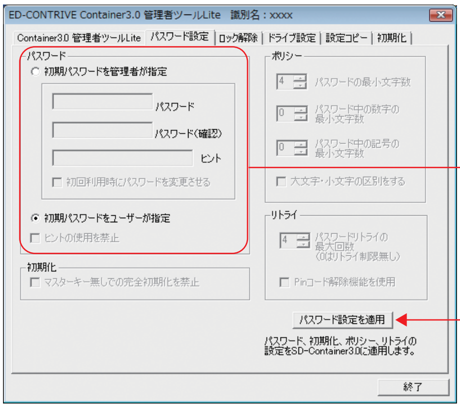
- **設定コピー**
  SD-Container3.0のパスワード設定を他のSD-Container3.0にコピーできます。（5回まで）

- **初期化**
  SD-Container3.0の設定やデータを削除し、出荷時の状態に戻します。

SD-Container管理者ツール3.0の項目説明

パスワード設定

初期パスワード設定を管理者があらかじめ行うか、ユーザが行うかを設定できます。

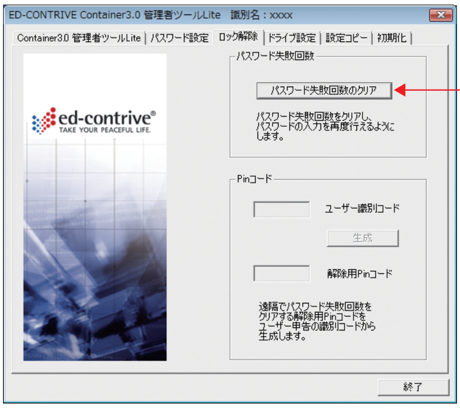


①パスワード設定を選択・入力します。

②［パスワード設定を適用］をクリックします。

ロック解除

パスワード認証を失敗してロックされたSD-Container3.0を、パスワード認証が行える状態に戻すことができます。



①［パスワード失敗回数のクリア］をクリックします。

初期化

SD-Continaer3.0を出荷時状態に戻します。

注意	SD-Container3.0に保存されたデータ、設定は全て削除されます。 必要なデータあらかじめバックアップしてください。

［完全初期化］をクリックします。

パスワード設定を他のSD-Container3.0にコピーする

パスワード設定を他のSD-Container3.0にコピーすることができます。以下の手順で実施してください。

メモ	設定をコピーすると、マスターキー・識別名もコピーされます。

注意	SD-Container管理者ツール3.0Liteは機能制限版のため、コピーは5回までとなっております。あらかじめご了承ください。

SD-Container3.0の設定をそのままコピーする

注意	コピー先のSD-Container3.0は、完全初期化されている（出荷時状態）か、コピー元同じマスターキーである必要があります。コピー元と別のマスターキーを使用している場合は、「設定ファイルを保存してからコピーする」の手順でコピーしてください。

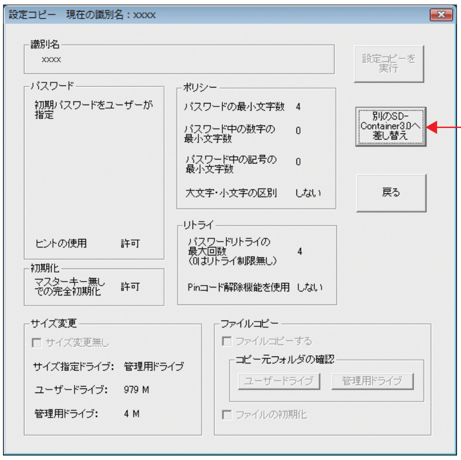
1. コピー元のSD-Container3.0を接続します。

2. SD-Container管理者ツール3.0Liteを起動し、認証を行います。

3.

[現在のSD−Container3.0からコピー]をクリックします。

4.



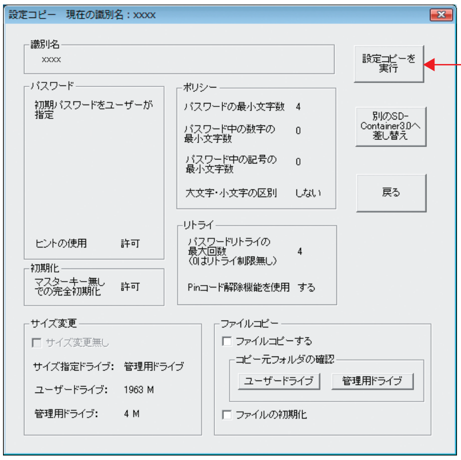
[別のSD-Container3.0への差し換え]をクリックします。

パスワード設定を他のSD-Container3.0にコピーする

5. 「SD-Container3.0を取り外し、コピー先のSD-Container3.0を装着したら、OKをクリックしてください。」と表示されたら、コピー元のSD-Container3.0を取り外してからコピー先のSD-Container3.0をパソコンに取り付け、[OK] をクリックします。

6. 「コピー先のSD-Container3.0が認識されました。」表示されたら、[OK] をクリックします。

7.



[設定コピーを実行] をクリックします。

8. 「設定をコピーしました。」表示されたら、[OK] をクリックします。

メモ

他のSD-Container3.0に設定をコピーする場合は、手順4から手順をコピーする数だけ繰り返してください。コピー完了後、SD-Container管理者ツール3.0Liteを終了してください。

SD-Container管理者ツール3.0Liteを終了する

SD-Container管理者ツール3.0Liteを終了するときは、画面右下の［終了］をクリックしてください。

アンインストール

アンインストールする際は、［スタート］ー［（すべての）プログラム］ー［ED-CONTRIVE］ー［Container3.0Lite］ー［アンインストーラ］をクリックし、画面の指示に従ってください。